

令和4年の新しい制度と施策 選ばれるまち東海村の諸施策の一例

- ・全ての福祉の相談窓口を総合福祉センターに集約（令和4年4月から）
今まで東海村役場福祉部、地域包括支援センター、東海村社会福祉協議会で受けていた福祉関係の諸相談を、**東海村総合福祉センター（絆）内の相談窓口**で集約対応します。
- ・地域包括支援センターの運営事業を民間委託（令和4年8月から）
東海村南部地区：中丸、舟石川、照沼小学校区 ☞ オークス・ウェルフェア
東海村北部地区：村松、石神、白方小学校区 ☞ いばらき会（石神コミセン前）
- ・とうかい住まいる応援事業 東海村の人口減少対策として、村外からの移住を促進します。
事業期間：令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間
対象：村外から東海村に移住する39歳以下の夫婦（パートナー）、
結婚4年未満、夫婦の何れかが村外からの転入者
補助対象：引っ越し費用、住宅賃貸費用、住宅購入費用
補助限度額：20万円
- ・省エネ設備設置補助事業 地球温暖化対策推進法
居室の窓を高断熱窓に取り換えの補助金：費用の半額で最大10万円を補助
村内事業者が発注の場合は、最大15万円補助
売電契約完了した既設のソーラパネルがある場合の蓄電池設置に最大10万円を補助
- ・空家等解体リフォーム工事補助事業
空家を「空家バンク」に登録後、空家売買の際の解体やリフォーム費用を一部補助
解体費用：工事費用の66%、最大80万円を補助 村内業者発注の場合は20万円加算
リフォーム費用：工事費用の66%、最大80万円を補助、村内業者発注の場合は20万円加算、村外からの転居者に対して20万円を追加補助
- ・空家解消のための手続き費用補助事業
村紹介の不動産業者等に相談し、空家の調査、測量、設計、登記等空家解消に要した費用の半額、最大10万円補助（東海村空家バンク登録を条件）
- ・ふるさと納税返戻品魅力発信支援補助事業
村の承認を受けて、返戻品を送送する事業者に対して、補助率2/3、最大20万円の納税サイトやリーフレット、パッケージのデザイン費、印刷、製本費等を補助
ふるさと納税のPRイベントに必要な経費等を補助率2/3、最大10万円補助
- ・村内小売り、飲食、理美容業等のクーポン割引キャンペーン
「クーポン付きチラシ 1,000円割引×2枚」を広報とうかい5月25日号に折り込み予定
村民は1回の会計が3,000円以上のとき、クーポン1枚(1,000円)を使用。
事業者には、先着200件（最大20万円）を補助。



こんな時こそ、家族や大事な人と記念写真を スタジオ フィール

新型コロナ感染症の蔓延で2年間で過ぎました。色々な行事が中止や縮小に追い込まれ、何もかも時間が止まってしまったようです。何年後にふと気が付いたら、特別なシーンが何も残っていないのは非常に残念。あなたの大事な家族や友達との瞬間を確かなプロの腕で残しておく、スマホの写真には到底及ばない格調高い写真を、記念日ごとに気軽に撮ってみては如何でしょうか。ちょっと気取って、少々お洒落して、そしていつもの普段着で。

東海村役場入り口近くのスタジオフィールは、プロのカメラマンがあなたとあなたの大切な人の時間を、精緻で確かな思い出として残します。



スタジオフィール ☎ 029-287-7370
原研通り カスミ並び 定休日：火・水曜日

この村政報告書は、営利や勧誘を目的としたチラシ、ダイレクトメールではありません。

みなみ風 Minamikaze Vol. 7

東海村議会議員 みかみ修後援会村政報告 2022年 夏号

☎：090-1837-3989 e-mail: mikami_osamu@nifty.ne.jp



令和4年3月定例議会（本会議）で決まった主な内容

- ・一般会計及び特別会計の令和3年補正予算と令和4年度予算を可決

令和3年度一般会計補正予算 210億円を認定

令和4年度一般・特別会計総事業費 278億円（ほぼ昨年並み）

新型コロナウイルス感染症対策とともに、「選ばれるまち東海村」として人口減少対策や福祉サービス充実など、山田村政3期目の攻めの諸施策が展開されます。

- ・広域避難計画の速やかな策定を求める請願を採択（賛成多数）
東海村商工会の勇気ある声に心から賛同し、請願を採択しました。
- ・広域避難計画を慎重に策定し、住民の確証を得ることを求める請願を不採択（賛成少数：4議員）
期限が見えず実現性がない、計画策定までの期間に住民を危険に晒し続ける本件請願を不採択としました。請願の趣旨が判明した時点で直ちに不採択とすべきと反省。
- ・ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議 全会一致



☞村民の要望により役場正面玄関受付にユニセフの募金箱を設置しました。

みかみ修の議会一般質問

皆様の議会傍聴を心からお待ちしております！

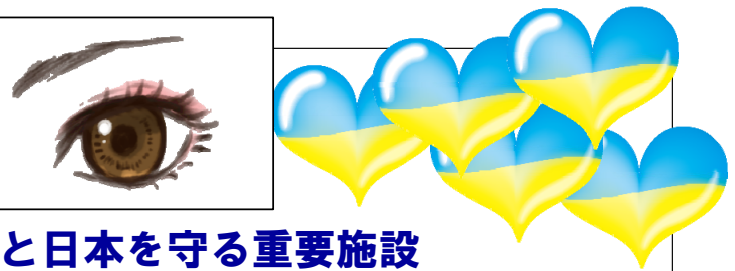
- ・広域避難計画の実効性とは（議会だより48号「村政を問う」と裏面に関連記事掲載）
今、東海村に求められている急務は、原子力災害発生時の広域避難計画の策定です。この計画に求められている「実効性」は、計画が無い現時点で高めることなどできません。**訓練を重ねて完成度を高めるもの**であるという村の認識を確認しました。
- ・中丸小学校の児童数増加対策の対応策
JR東海駅東側の新しいマンションの完成やフローレスタ須和間団地の120戸増設、今年から始まる東海村の人口増加施策によって中丸小学校の教室不足が懸念されますが、十分対応可能であることを確認しました。
- ・令和3年12月の子育て給付金10万円不支給の格差（裏面解説参照）
村内では、昨年末に所得制限の関係で給付金を貰えなかった家庭があり、実態を確認のところ18歳未満の約18%が不支給。格差の是正は「学校給食の無償化で！」と再度提案しました。
- ・東海村と村民を守る東海村建設業者の育成

経済の低迷で建設事業が減り、建設業者が廃業の危機に晒されている。入札方式を工夫して、地元で雇用し納税に努め、災害時には速やかに駆けつける村内建設業者の育成を求めました。



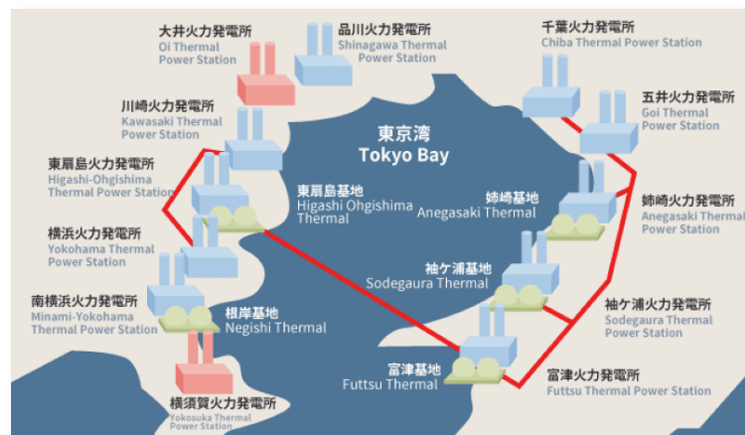
みかみ修はマスクとペーパーレスのタブレットで一般質問

【新連載】 エネルギー・アイ 明るい未来の みんなの電気



第5回 東海村の発電所は東京と日本を守る重要施設

東海村には、東海第二発電所（出力110万キロワット）と常陸那珂火力発電所（2基出力200万kW:キロワット）そして、常陸那珂共同火力発電所（出力65万kW）の大きな発電所があります。1世帯で使う電気は、概ね3kWと言われておりますことから、**合計375万kWの出力は一般家庭が使う電気に換算すると、実に125万世帯分の電気を供給しています**。茨城県は、今年約120万世帯ですから、如何に東海村が首都圏の電力供給に貢献しているのか実感できるデータです。東海村で作られた電気は、日本を守っていると言っても過言ではありません。正に**「原子力発電発祥の地としての東海村の矜持(きょうじ)：プライド」**なのです。



東京湾を取り囲むたくさんの火力発電所 出展:東京電力HP

迫の中で、東海第二発電所という一つの資産が活されずに停止し続けていることは、本当に残念なことです。原子力は、人類が安寧に暮らすためのエネルギー。人類が叡智を以って安全に制御し、役立てることが出来るのです。資源やエネルギーの枯渇、地球環境の保全は「待ったなし」、エネルギーのあり方をもう一度見つめ直してみませんか。エネルギーを考えることは人類と地球の未来を考えることです。ウクライナに平和が戻ることを心から祈りつつ。



東京湾には左図の如く多くの大型発電所ありますが、多くは旧来の設備で効率も低いという状況下、点検の停止や稀にどうしても避けられない設備故障もあり、**東京の電気はいつも綱渡り状態**。今年2月に厳冬を迎えた時も、大停電の危機が迫っていました。そして3月16日の深夜に発生した宮城・福島沖の地震では、首都圏の火力発電所も停止に追い込まれ、東電管内だけでも一時、約200万戸の大停電が発生しました。**このようにエネルギーがひっ**

【寄稿】 みかみ修って、どんな人？ その3

議会を傍聴していると「これ、議会質問すべき案件なの？、担当部署に直接申し入れた方が解決が早いのでは？」と思うことがある。世界的に論議が高まっている地球温暖化阻止とエネルギーの安定的供給という喫緊の課題に、原発稼働の是非の論議は避けられず、原発を立地している東海村議会の役割は大きい。深堀した議論を進めるためにも議会で採り上げるべきか、或いは担当部署へ要請するか峻別し、実のある議会審議に努めるなければならない。加えて高齢社会での持続可能なコミュニティの確立など、重要な課題に議会は活発な議論を進める事が重要で、そのためにも議員としての研鑽と情報収集を重ね、それに基づいた知識や知見を活かし、あるべき方向性を提言してほしい。



ピカピカの一年生議員は四字熟語に弱い

みかみ修議員は当選以来、電力技術者としての知識と経験を活かし、エネルギーや原子力問題を毎回議会で採り上げながら、東海村の将来方向を見定めて具体的に提言。質問のスケールはとても大きく、その意図は非常に深い。答弁側はさぞかし手を焼いていることだろう。議員活動は、この広報紙「みなみ風」を通して毎回報告。とても楽しみにしている。いまのところ、尸位素餐(しいそさん)にはないらしい。(で)

一般質問解説:子育て給付金10万円の格差は、学校給食の無償化で！

本年度東海村は人口増加対策を講じて参りますが、それでも平成8年までには、中丸小学校の児童が100人減少することが予想されております。村内の他の小学校も例外ではなく、今後は大胆な子育て支援が必要。東海村では昨年末の子育て給付金を貰えなかった人は実に18%もあり他の市町村に比べて格別高水準ですが、庶民生活の実態はなかなか大変。東海村が、「住んでみたい、選ばれるまち」を目指すのであるなら、他の市町村では既に取り組んでいる**「小・中学生の学校給食無償化」**



学校給食の無償化を！

を本村でも速やかに実施すべき」と私は主張しています。

自治体には「財政調整基金」と呼ばれる「ヘソクリ」があります。ヘソクリはコソコソ貯めるものですが、法律の定めもあり東海村では結構貯りました。お金は有効に還元して社会に役立てるべきものです。本村の財政調整基金が有効に回るよう引き続き注視しつつ、活用を促して参ります。

元駐在員が教える台湾の名店・名所 其の五

台北市大安路 お粥屋通り

みかみ修、台北に赴任して中国語（北京語）を習いながら街にも意外と早く馴染みまして着任して2週間を過ぎると自由に市内をウロウロできるようになりました。

駐在員をやっていると、毎日のように会食がありますが、ごく稀に1人で食事する日があります。そんな時は、台湾大学近くの大安路にあるお粥屋通りで食事をしていました。

台湾のお粥は、具が豊富でとても栄養価が高く、体にやさしい健康美食です。

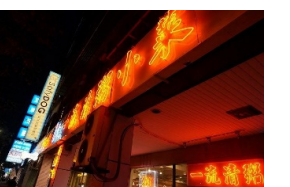


そのうち、会食後の酔い覚ましにも立寄るようになり、27歳当時の体重55kgは、今となっては夢のまた夢。

台湾の個人旅行が再開されることを期待しております。

台北には近くて便利な茨城空港から

台湾初のLCC タイガー航空で！ 台湾の信頼の翼 中華航空グループ



台北市大安路には有名なお粥屋が集中

修学旅行で旅館に泊るとき、生徒が最初に受ける説明は？

コロナ禍で、修学旅行が取りやめになった方も多いと思います。楽しみにしていた行事ができないことは大変残念で、傍で見ているのも辛いものです。

私の故郷は北海道の函館近くで、高校生の時は京都に修学旅行でした。生徒が旅館に入り、いの一番で受ける説明は**「旅館の避難経路」**です。さて、この避難経路や避難訓練などを定める消防計画は、誰が審査して承認しているのでしょうか。それは、所轄消防本部(又は消防局)です。合格すると認定マークが交付されます。

「先生、僕たちが泊まるこの旅館の消防計画は本当に適合ですか、その計画に実効性がありますか？」と質問する生徒がいたら・・・。東海村では、広域避難計画の策定前から「その計画は効果あるの？」という不合理な論調のために、貴重な時間を消耗してしまいました。

こんな時、中島みゆきの「世情」という歌を思い出します。
♪「時の流れを止めて、変わらない夢を見たがる者たちと戦うため」



先生！この旅館の避難計画の実効性は？